

教育県岡山の復活に向けて、心の教育を重視した教育の支援に努めることができた

岡山県教育振興会

活動の目的

教育県岡山の復活に向けて、「不易と流行」の視点に立ち、歴史と伝統に基づく「心の教育」を重視した本県にふさわしい教育を支援していくことを目的に活動する。

活動の内容及び経過

本県教育にふさわしい教育のあり方についての教育研修、研究、教育啓発

① 教育研修会

「教師への夢を語る」－教師をめざす学生と現職、先輩教員とのトークー

- ・教員をめざす学生に、教師の仕事のすばらしさを伝え、誇りと情熱と安心感をもってスタートできるよう教師養成を支援する。
- ・岡大、清心、就実、作陽大学生が出演。

② 教育講演会

「主体的・対話的で深い学び」

講師 高旗浩志（岡大教授）

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を提言。

③ 教育啓発紙「教振だより」を発行

- ・学校園、地域での取り組み、特色ある学校園の紹介、教育提言等を掲載。
- ・県下全教育機関に配布（年2回）

活動の成果・効果

ここ数年、学力と共に、いじめ・不登校・暴力行為などの問題行動などについて、改善の方向にあるものの、依然として厳しい状況と認識している。

本会として、このような状況にあって、教育県岡山の復活に向けた学校園や地域の取り組みを積極的に支援しようと活動してきた。

教育行政関係者や学校園長会の代表者との意見交換、会員はもとより現職教員にも呼び掛けた研修会、学校園を支援するボランティア活動、教員をめざす学生に教職のすばらしさを伝える先輩としての活動である。

教育関係者の懸命の努力により、次第に教育課題が改善の方向にあるが、教育県岡山の復活に向けた道への成果は、まだまだその途上にあると言わざるを得ない。

本会がめざす教育の核心と考える「不易と流行」の視点に立ち、歴史と伝統に基づく心の教育を重視した地域活動や学校園での教育実践、授業改善による教師の指導力の向上のための研修支援、啓発紙発行などと地道な活動である



が、人間力豊かな子どもの育成をめざして、多くの教育関係者と連携をとって、今後とも努力を重ねていくことが使命と考え活動する。

今後の課題と問題点

① 教育研修会

「教師への夢を語る」

- ・出演大学を本年度4校から5校に増やした。
このことで、1人の発言時間が少なくなるので進行の工夫が必要。
- ・一般学生の参加者を増やす。
- ・一般学生の発言機会を増やす。

② 教育講演会

演題「主体的・対話的で深い学び」

- ・前年度は授業改善のための理論編が中心であった。
- ・今回は実践編として、具体的な授業改善に視点をあてた内容としたい。
- ・現職教員の参加を増やすこと。

③ 教育啓発紙「教振だより」を発行

- ・県下全ての幼小中高の学校園に1部ずつ配布しているが、回覧が校長等一部の教員に留まっている状況がある。全教職員に回覧されるようにすることが今後の課題。

●代表者：門野八洲雄 ●所在地：岡山市北区寿町

●TEL：086-253-1124

●設立年：1978年 ●メンバー数：維持会員39名、一般会員904名